

## 「全日本トライアスロン皆生大会」に初出場

真誠会トライアスロンチーム 監督 長山 誠司

令和元年7月14日、第39回全日本トライアスロン皆生大会に「チーム真誠会」が初出場しました。スイム3キロ、バイク140キロ、ラン42.195キロを3名で分担し、完走を目指しました。今回、職員から体力自慢で出場希望の精鋭を4名（1名補欠）揃えました。

スイムは私が担当しました。私自身、この大会は10年振り12回目の出場でした。大会10日前に急遽スイムでの出場が決まり調整が大変でしたが、補欠として全種目の練習を行っていましたので、無事に次のバイクに繋ぐことができました。

バイクは谷田周二君が担当しました。本大会の最大の難関がアップダウンとコーナーが連続するバイクコースです。早朝練習を行い、また地元の利を生かし何度も何度も大会コースを試走し難所対策を行いました。家族のバックアップも大きな支えとなりました。

ランは柿本和也君が担当しました。信号に従って走るため、ペースが乱れて大変でした。

しかし、真誠会の施設前を走った時の入所者の方々からの声援、そしてエイドステーションでボランティアしている職員からは激励をいただき、ゴールまで一気に駆け抜けることができました。

全員でゴールテープを切った時の感動は、忘れることができません。応援いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

総合順位は61チーム中32位。来年も出場予定なので、我もと思う体力自慢がおられましたら、連絡お待ちしています。



左から長山誠司(スイム)、柿本和也(ラン)、  
谷田周二(バイク)